

正月 小正月の  
伝統行事と風習

家内安全、無病息災、子孫繁栄、豊作豊漁など、日本人はさまざまな方法で神仏に祈りを捧げ、願いを込めました。その儀式、風習は現代の生活にもとけ込んでいます。年の初め、元日から小正月にかけては、これらの行事が市内でもあちらこちらで見られる時期。その中からいくつかをご紹介します。

問合せ 文化財保護課 ☎43・2005  
企画情報課 ☎43・7510



曼茶羅モチ占い  
(金峯神社・小滝)



正月年占行事の  
大御饗の神事  
(七高神社・院内)



酒飲み占い  
(諏訪神社・関)



雪中田植え  
(横岡)



シヨドメマイッタ(大森)

シヨドメは五月女のこと。女兒、幼児が家々を回ってモチや菓子をもらう。



七草行事  
獅子舞巡行  
(塩釜神社・飛)



御宝頭の舞  
(八島神社・島)



アマノハギ(小滝)

ナマハゲ、アマノハギは鬼が子どもたちを諭す。アマハゲは福を呼ぶ使者。鬼ではない。似ているようで違う。

アマハゲ(赤石)



ナマハゲ(中ノ沢)



どんど焼き(桂坂)

ワラや竹で作った小屋を燃やし、その火でモチを食べる。無病息災を願うもの。桂坂ではそのすすを顔に塗られる。



小屋焼き(水岡)



どんど焼き(中野)



嫁つき(大森)



鳥追い(横岡)



鳥追い(釜ヶ台)

鳥追いは稲作の邪魔をする鳥を追うもの。嫁つきは鳥追いの道中、初嫁が家に居着くように、子孫繁栄を願うタラの木で突く。横岡では初嫁がモチなどを手渡す。